

## みどりの基本方針及び目標の考え方(たたき台)

### 1. みどりの基本方針(たたき台)

**基本方針 1:「都市格の向上をめざし、水とみどり豊かな都市景観の創出や、歴史文化資源とともにあるみどりを保全する」**

- ・ 人が集まる空間である鉄道 4 駅を中心に、まちのシンボルや都市の顔となる緑化空間の創出を図るとともに、市の玄関口にふさわしい都市景観の形成を図ります。
- ・ 本市を代表する資源である淀川、寝屋川などの水辺空間や、市域に存する歴史文化資源と一体となったみどりを保全し、まちの魅力をより一層高めます。
- ・ 鉄道 4 駅を中心にサクラを活用したネットワークを形成し、まちの魅力向上を図るシティプロモーションを展開します。

**基本方針 2:「みどりの骨格を形成する広大なみどりの保全とともに、都市公園などを中心とした地域の拠点づくりを進め、地域コミュニティ形成などの場として活用する」**

- ・ 淀川河川公園や寝屋川公園、打上川治水緑地など広大なみどりを市民の防災、レクリエーションの拠点として保全します。
- ・ 市民の身近なみどりとなる都市公園の整備や、学校法人等との連携などにより、地域の拠点となる新たなみどりを保全、創出します。
- ・ 淀川、寝屋川などの市街地内の貴重な水辺空間を保全し、生物多様性を確保することにより、市民などの環境学習の場等として活用します。

**基本方針 3:「市内に残る農地を守りつつ、まちなかのみどりを広げ、つなげることにより災害に強いまちづくりに貢献するみどりを守り、創出する」**

- ・ 農地の持つ多面的な機能を発揮させるため、まちなかの貴重なみどりとして市内に残る農地の保全に努めます。
- ・ 密集住宅地区や旧集落地などにおける住環境の改善を図りつつ、新たなみどりによるオープンスペースや、民有地におけるみどりを創出し、まちなかのみどりを広げます。
- ・ 住工共存地において、環境対策と生活環境の改善の両立や、安全安心なまちづくりに資するみどりを創出します。
- ・ 駅につながる道路など、主要な幹線道路沿道におけるみどりを保全、創出し、新たなネットワークを形成することにより、みどりのつながりを広げます。

#### 基本方針4:「市民等の行動へのつながりや、計画の実現可能性を確保するためのしくみづくり」

- ・ 市民等による協働のみどりづくりを促進するため、活動場所や資機材、または様々な情報提供や技術的な支援を行うことにより、市民等がみどりにかかわれるしくみを検討します。
- ・ 事業者等が「企業市民」として、企業 CSR などの社会貢献活動を促進するため、操業地域や市内各所のみどりにかかわれるしくみを検討します。
- ・ 教育機関との連携により、新たなみどりづくりの担い手を育成するしくみを検討します。
- ・ 国営公園や府営公園等において、国、府、市などの広域連携によるみどりづくりに引続き取組ます。
- ・ 多様な主体との連携によるみどりづくりを推進するためのしくみを検討します。
- ・ 計画の推進にあたってはアクションプランの策定、連携の取組、評価、改善など PDCA サイクルによる進行管理を行います。

## 2. 目標について

### (1)第1回審議会での意見より

- ・「市民が身近なところで何ができるのか。どんな関わり方ができるのかが見えるような計画にすべき」（審議会①増田委員より）
- ・「質の向上、市民にとってどうプラスになるのかをわかりやすく示す必要がある」（審議会①工藤委員より）

⇒改定にあたっての基本的な考え方について、市民目線でわかりやすい計画にすることが重要。

- ・緑化率や一人当たり緑地面積などの数値ではなく、「緑が活かされている」ということをどのように示すかが大事。市民が求めているものに対する指標に重点をおくべき（審議会①中村委員より）
- ・進捗状況を継続的に確認できるよう、「公園に行く回数が何回増えた」のように数値で示すことができるよう指標を検討すべき（審議会①増田委員より）

⇒今後の計画に基づく取り組みの進捗確認のための指標については、従来のみどりの量の確保に関するものよりも、市民の実感や、みどりとの関わりを示す指標を用いることが重要。

### (2)目標設定の考え方(たたき台)

市民の暮らしにみどりがプラスに働いているという実感を増やすため、緑の量、質の両面から、「身近にある、目に見える」、「たのしめる」、「かかわれる」機会や場所を増やすことを基本的な考え方として、目標値を設定する。

#### ①身近にある、目に見えるみどりを増やす

- 目標例)
- ・「市域全体の都市公園面積」、「市域全体の緑地面積」の増加
  - ・「寝屋川のみどりが増えた」と答える市民の割合の増加
  - ・緑化重点地区等における「緑視率」の増加 …など

#### ②たのしめるみどりを増やす

- 目標例)
- ・「公園緑地を利用する頻度」の増加 …など

#### ③かかわれるみどりを増やす

- 目標例)
- ・「みどりに関する活動を知っている」、「みどりに関する活動に参加している」と答える市民の割合の増加
  - ・公園愛護会の設立件数の増加
  - ・「地域活動や学校での環境教育、企業による活動など、他分野連携による公園緑地の利活用」の回数の増加や連携先の増加
  - ・市民参画や企業参画による取り組み事例の増加 …など